

水の使い道（我が家の水資源）

■概要

一日の生活の中で水をどれくらい使っているかを予想するとともに、実際に使った量を調べる。

■ねらい

自分や家族が一日に使う水の量を調べることにより、普段は何気なく使っている水も貴重な資源であることを知る。

■準備物

- 調査用紙
- 水を汲む子どもの写真など、世界の水事情に関する写真など
- 筆記用具

■進め方

活動	時間	内 容	注意事項
導入	10 分	・世界の国々の水事情について写真や新聞記事等を基に説明する。	できるだけ最近のニュースから情報提供する。
調査	35 分	・水道水はどこから来るのか。使った水はどこへ行くのか。水の循環、上水道の仕組み、下水道の仕組みなどを考える。 ・どんなときに、何のために水を使っているかを調査用紙にメモする。 ・班ごとに、みんなで「どんなときにどのように水を使っているのか」を意見交換する。 ・水を使うそれぞれの場面で、どれくらい使っているかを予想する。 ・水使用器具 1 回当たりの水使用量を説明し、水を大事に使う工夫について話し合う。	水量に関する感覚を同じにするために、統一のものさしを利用する。(例：おふる、ペットボトルなど)
宿題		・実際に、登校日と休日の水の使用量を調べて、予想との違いを比較する。 ・家族全員の 1 日の水の使用量について調べる。どんなところで無駄な水を使っているかを調べ、それを減らす工夫について家族で考える。	使用量は、水道メーターを利用するとよい。(時間を決めて、メーターの読み取りをする。)
(見学)		(浄水場、下水処理場見学)	
まとめ	45 分	見学で分かったこと、水の使用量と使用量を減らす工夫についてみんなで考え、発表しあう。	

(授業の場合 導入・調査 45 分×1、まとめ 45 分×1)

■引用元参考文献

水辺から学ぼう（財団法人河川環境管理財団）

身のまわりの水

朝 水道メーター m³
 夜 水道メーター m³

日付 月 日	だれが、どのように水を使ったか (何分流した、何回使ったなど)	使う (使った) 水の量	
		予想量 (リットル)	実際量 (リットル)
	洗面		
	歯磨き		
	飲み水		
	調理 (朝食)		
	後かたづけ (朝食)		
	調理 (昼食)		
	後かたづけ (昼食)		
	調理 (夕食)		
	後かたづけ (夕食)		
	お風呂		
	シャワー		
	洗濯		
	トイレ		
	そうじ		
	水まき		
	その他		
合計			

- 注) ・水道・シャワー：1分間流すと約12リットル
- ・洗濯機や食器自動洗浄機は、カタログや取り扱い説明書に書いてある数字で計算する。
 - ・トイレは大で12～20リットル、小で8～12リットルの水が必要です。説明書があればその数字で計算する。
 - ・お風呂は、1回で180リットルと計算し、風呂桶の残り湯を洗濯などに使った場合はその量を使用量から差し引く。